

ARSk300GA

国際社会演習—ヒトの移動で読み解く世界—

曾 士才

配当年次／単位：3～4年／4単位

旧科目名：

旧科目との重複履修：

毎年・隔年：毎年開講 | 開講セメスター：春・秋

人数制限・選抜・抽選：選抜

他学部への公開：×

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

日本や諸外国において、国際労働力や留学生として、または国際結婚などによって移入してきた様々な外国人、あるいは観光客として訪れる人たちに焦点を当て、ヒトの移動を切り口にして、その国のグローバル化や多文化共生について学び、考える。

【到達目標】

日本や諸外国のなかの移民コミュニティや移民が継承する／創造する文化について、あるいは外国人観光客誘致のための情報発信に力を入れている地域や外国人に人気のある観光スポットについて、関連する研究文献を読み、自ら現地をフィールドワークすることにより、その国における多文化共生の現状と課題を学ぶ。そして、研究成果を国際文化情報学会で発表し、最終的には分析レポートとしてまとめる。

【授業の進め方と方法】

19世紀は「移民の世紀」と呼ばれ、ヨーロッパから多くの移民が新大陸アメリカへと渡って行った。同じ頃、アジアでも中国やインドから欧州列強の植民地へのヒトの移動が見られた。「戦争の世紀」と呼ばれる20世紀に入ると、難民や国際労働力としてのヒトの移動が世界規模で広がっていった。そして、21世紀は「観光の世紀」とも呼ばれ、人類最大の異文化接触や交流が日々、世界で展開するようになっていく。

春セメスターでは、こうしたヒトの移動に関する共通文献を読み、討論を行う。次に、チームまたは個人単位で研究調査テーマに関する先行研究を洗い出し、研究文献の渉猟を行う。最終的には研究調査計画を立案する。また、課外活動として移民コミュニティのある町を歩く。

秋セメスターではチームまたは個人単位で研究調査したことを整理分析し、発表し、討論する。必要に応じて補充調査をし、11月の国際文化情報学会で成果発表を行う。また、研究を深めるために、ゲストスピーカーをお呼びして特別講義をしていただく。

【授業計画】

春学期

回	テーマ	内容
第1回	4年生による研究紹介(1)	4年生による自己紹介を兼ねた研究紹介 春学期授業の説明、テキスト講読の分担決め
第2回	4年生による研究紹介(2) フィールドワーク入門解説	4年生による自己紹介を兼ねた研究紹介 教員による F.W. の入門解説と4年生による事例紹介
第3回	テキスト A の講読と討論(1)	分担者の発表と共同討論。第10、11章の講読
第4回	テキスト A の講読と討論(2)	分担者の発表と共同討論。第12、13章の講読
第5回	テキスト A の講読と討論(3)	分担者の発表と共同討論。第1～3章の講読
第6回	テキスト A の講読と討論(4)	分担者の発表と共同討論。第4～6章の講読
第7回	テキスト A の講読と討論(5)	分担者の発表と共同討論。第7～8章の講読
第8回	テキスト B の講読と討論(1)	分担者の発表と共同討論。第1～3章の講読
第9回	テキスト B の講読と討論(2)	分担者の発表と共同討論。第4～6章の講読
第10回	3年生による研究発表と討論(1)	各自の研究テーマについて発表し、グループ討論する。

第11回	3年生による研究発表と討論(2)	各自の研究テーマについて発表し、グループ討論する。
第12回	3年生による研究発表と討論(3)	各自の研究テーマについて発表し、グループ討論する。
第13回	研究調査計画の立案	フィールドワークの計画案を練る(テーマ、調査対象、調査内容の決定)
第14回	研究調査計画発表	チームまたは個人単位の発表と質疑応答 役員の改選

秋学期

回	テーマ	内容
第1回	研究調査の進捗状況報告	各自の研究調査の進捗状況を報告 教員から卒論等の説明、学会発表の説明
第2回	調査結果の整理・分析	整理・分析 or 補充調査
第3回	参考文献の整理と要約(1)	自身の研究の参考となる文献の読込と発表
第4回	参考文献の整理と要約(2)	自身の研究の参考となる文献の読込と発表
第5回	参考文献の整理と要約(3)	自身の研究の参考となる文献の読込と発表
第6回	参考文献の整理と要約(4)	自身の研究の参考となる文献の読込と発表
第7回	研究成果の発表(1)	主に4年生、ゼミ生全員の前で成果発表 (学会発表者の選抜を兼ねる)
第8回	研究成果の発表(2)	主に4年生、ゼミ生全員の前で成果発表 (学会発表者の選抜を兼ねる)
第9回	学会発表のリハーサル(1)	学会発表予定者は発表の準備。それ以外の人は卒論、レポート作成作業
第10回	学会発表のリハーサル(2)	学会発表予定者は発表の準備。それ以外の人は卒論、レポート作成作業
第11回	4年生による就職ガイダンス	活動日程、重視したこと
第12回	ゲストスピーカー講演	外部講師による講演、アドバイスなど
第13回	研究成果の発表(1)	主に3年生、レポートに基づく成果発表
第14回	研究成果の発表(2)	主に3年生、レポートに基づく成果発表

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

春学期では、共通テキストの読み込みを行うとともに、自身の研究テーマの先行研究の洗い出し、読み込みを行う。秋学期では、フィールドワークや文献調査によって得られた調査結果の整理・分析を随時行う。

【テキスト（教科書）】

A：高山陽子編『多文化時代の観光学—フィールドワークからのアプローチ』ミネルヴァ書房 2017年
B：白水繁彦編『移動する人びと、変容する文化—グローバルイゼーションとアイデンティティ』お茶の水書房 2008年

【参考書】

菅原和孝編『フィールドワークへの挑戦—〈実践〉人類学入門』世界思想社 2006年
山下晋司『観光人類学の挑戦—「新しい地球」の生き方』講談社選書メチエ 講談社 2009年
日本移民学会編『移民研究と多文化共生』御茶の水書房 2011年
吉原和男編『現代における人の国際移動—アジアの中の日本』慶応義塾大学出版会 2013年

【成績評価の方法と基準】

春学期は授業中の討論への参加度、調査への参加度 70%、期末に課すレポート（研究調査計画書／中間報告書）30%、秋学期は授業中の討論への参加度、調査への参加度 70%、期末に提出する分析レポート 30%の割合で成績評価を行う。

管理 ID：1805011
授業コード：C1130

【学生の意見等からの気づき】

ゼミ参加者数が多く、グループワークの時間が占める割合が高い。ゼミ生全体の交流の機会を確保するために、懇親会や授業支援システムの活用を心がけたい。